

平成 22 年 10 月 14 日

農林水産省支援
平成 22 年度農商工等連携促進対策
中央支援事業（コーディネーター活動対策）に係る

コーディネーター活動支援プログラム 実施地域の募集について

～ 食農連携コーディネーター (FACO) が地域の農商工連携を支援します～

この度、社団法人食品需給研究センターでは、地域における農商工連携の取組を支援するため、食農連携コーディネーター（FACO）を現地に派遣し、連携推進に向けた戦略指導や生産者と事業者等との連携による新商品開発、マーケティング等の指導・助言などを目的とした、活動支援プログラムを実施します。

現在、農商工連携、食料産業クラスター、これからの 6 次産業化など、『連携』をキーワードとした多くの取組が各地域で推進されていますが、いわゆる「ものづくり」に力点が置かれ、地域で面的な広がりや地域活性化に結びついているものなど大きな成果を創出しているケースは多くありません。

FACO は、地域全体を見すえた高度なプランニングや専門的なアドバイスを行うエキスパートとして全国で活躍しています。地域のみなさまの抱える悩みや課題を解決するためのきっかけ作りとして、また、地域における新たな気づきやアイデア創出など、次のステップへ進む手がかりとして、本プログラムをご活用ください。

地域における連携活動において、現在、課題を抱えている地域のみなさまは、是非、本プログラムにご応募ください。

FACO の派遣費用（謝金および旅費・交通費）は当センターが負担します。現地での FACO による指導は、補助事業の予算の都合上、最大 4 回（4 日間）となりますので、ゼロベースからの新商品開発や販路開拓の指導を受けるのではなく、現在の取組に対するブラッシュアップとしてご利用いただくことに向いております。

〔募集期間〕 平成 22 年 10 月 14 日（木）～平成 22 年 10 月 29 日（金）17:00 必着

〔募集対象〕 地域における農商工連携を推進する複数の関係者からなる連携体・枠組（研究会や協議会など任意の枠組でも可）。ただし、事業者等の単独による応募は対象外とさせていただきます。

代表窓口を決め、ご応募ください。

〔支援内容〕 FACO による、連携推進に向けた戦略指導や生産者と事業者等との連携による新商品開発、マーケティング等の指導・助言（派遣費用内での指導・助言となります。）

〔支援対象〕 FACO の派遣に要する謝金および旅費・交通費

〔活動期間〕 平成 22 年 11 月中旬（予定）～平成 23 年 2 月末

〔支援対象数〕 10

〔応募方法〕 別紙『応募用紙』に必要事項をご記入の上、上記の締切りまでに、電子データ（E-Mail）にてお送りください。

なお、支援対象数を超えた応募があった場合には、事務局において選定させていただきます。

〔活動結果〕 プログラム終了後、派遣した FACO が活動報告（事例報告）を地域のみなさまとのご相談により作成します。その結果を FACO バンク HP にて公開させていただきます。

【用語解説】

農商工連携

農商工等連携促進法（中小企業者と農林漁業者との連携による事業活動の促進に関する法律）による事業認定を受けた計画（いわゆる農商工連携事業）以外にも、地域には、事業認定を目指す、もしくは事業認定は目指さないものの地域における食と農の連携を推進する活動など、現在、地域には多くの取組が存在します。ここでは、これらの地域を活動の基盤とした連携による取組を広く捉え、便宜的に『農商工連携』と称しています。

食農連携コーディネーター（FACO）および FACO バンク

農商工連携、6次産業化、食料産業クラスター等に代表される食をととした地域活性化の取組において、現地コーディネーターや現地担当者・事業者の方々などの様々な場面におけるサポートを目的に、関連する分野において専門的な知識・経験を有し、現地コーディネーター等への指導・助言等を行う専門家、有識者、実務者。

社団法人食品需給研究センターでは、これらを参集した紹介サイト（FACO バンク）を設置・運営しています。現在、登録者は個人 114 名、応援企業 6 社となっています。

<http://www.fmric.or.jp/facobank/index.html>

1. 活動支援プログラムの概要

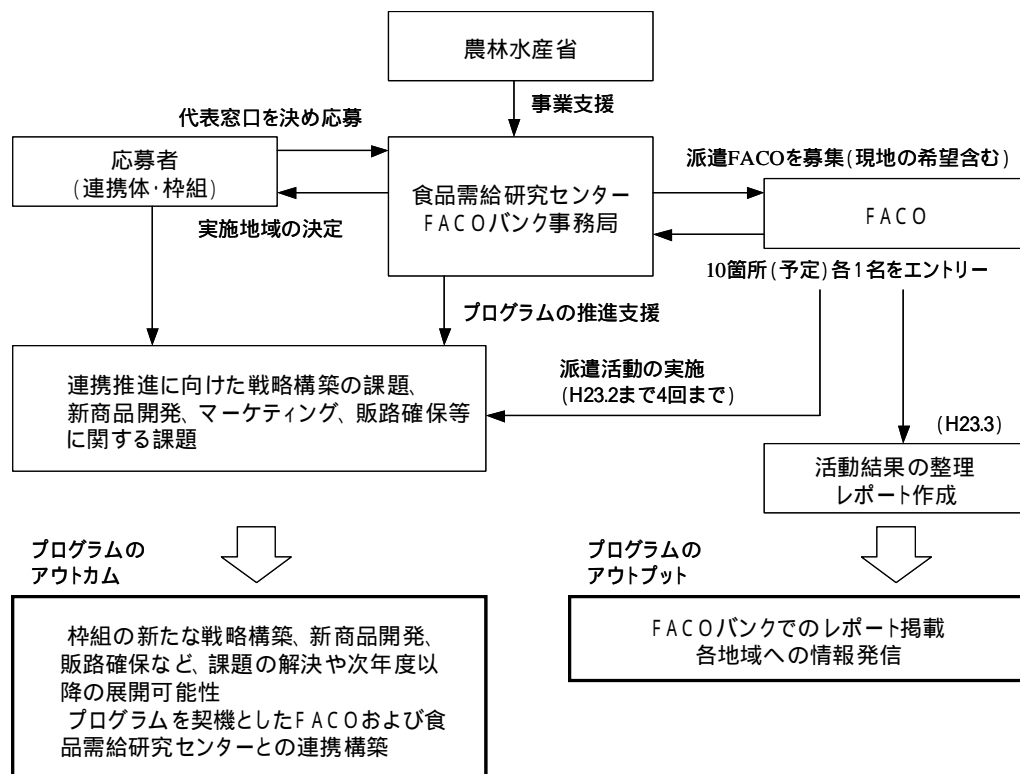
活動支援プログラムでは、農商工連携の更なる推進を目的に、FACOによる、連携推進に向けた戦略指導や生産者と事業者等との連携による新商品開発、マーケティング等の指導・助言等を行います。

(1) 募集対象

地方自治体、民間団体・企業、生産者・生産者団体など、農商工連携の推進を目的とした複数の関係者からなる連携体や枠組(研究会や協議会など任意の枠組でも可)とします。このため、生産者・生産者団体や事業者単独での応募は対象外とさせていただきます。

なお、申請にあたっては、代表窓口を決め、ご応募ください。

(2) 実施スキーム



1) プログラムへの応募と実施地域の決定

「(1)募集対象」に記した対象により、別紙『応募用紙』に必要事項をご記入の上、ご応募ください。実施地域は、国内10箇所を予定しています。

なお、予定数を超える応募があった場合には、応募用紙に記された内容、地域、連携体や枠組の構成等を考慮し、事務局にて実施地域を決定させていただきます。

〔実施地域の決定時期：平成22年11月上旬(予定)〕

2) 支援活動を行う派遣 FACO の決定

『応募用紙』にみなさまが希望する FACO を記入する欄を設けています。

みなさまの『応募用紙』の内容を事務局にて一覧にし、FACO に対して支援活動の募集を行います。

上記の 、 および FACO が所在する地域等を考慮し、事務局にて派遣する FACO を決定させていただきます。

なお、支援活動を行う FACO については、出来る限り、みなさまのご希望を優先することとしますが、1 地域を担当する FACO は 1 名とするとともに、活動の公平性確保の面から同一 FACO の複数地域への派遣は行わないこととします。このため、希望欄にご記入された FACO とならない場合もありますので、ご了承願います。

3) 支援活動の対象外となる事項

活動支援プログラムでは、これまで地域外からコーディネーターやアドバイザーが入ったことがなく、農商工連携を推進する上での課題がなかなか解決されないといった地域への支援を主目的としています。このため、既に FACO が現地との関わりをもっている地域においては、その FACO を選択することはできません。実施地域決定の際に、対象となる事項について、事務局にて事前調査を行わせていただきます。

4) 相談窓口の設置

「派遣された FACO が機能しない」、「現地の状況が応募内容と異なる」など、活動支援プログラムを遂行する上で発生した問題の解決を目的に、地域の代表窓口や FACO からの相談窓口を、FACO バンク事務局に設置します。

5) 支援活動の実施

実施地域、派遣 FACO の決定以後、直ちに、活動支援プログラムを開始します。初回の派遣は、FACO バンク事務局が調整を行います。2 回目以降は、地域の代表窓口と FACO との調整により活動を推進していただきます。

なお、支援活動の際に発生する FACO への謝金・旅費交通費の支払いに関する事務手続きについては、全て FACO バンク事務局にて行わせていただきますので、地域のみなさまにおける作業上のご負担はありません。

〔 支援活動の開始時期 : 平成 22 年 11 月中旬 (予定) 〕

6) 活動の結果 (アウトプット)

活動支援プログラムの結果は、活動が終了した平成 23 年 2 月、FACO が活動報告のレポートを作成し、その内容を FACO バンク HP にて掲載いたします。レポートの記述内容については、地域のみなさまにもご確認いただき、完成される予定ですので、ご協力の程、宜しく願い申し上げます。

なお、レポートには、地域の風土、食文化、現地のみなさまが取組まれている活動の概況、現在抱えている課題、活動支援プログラムの実施内容と課題解決の結果、これからの方向性といった内容を整理いたします。みなさまの活動が、FACO バンク HP をとおして、広く全国のみなさまに発信される予定です。

7) 活動の波及効果 (アウトカム)

活動支援プログラムで解決された課題をさらに発展させるため、是非、次なる展開をご検討ください。そのために、今回派遣されたFACOや(社)食品需給研究センター等との連携を構築していただき、連携体や枠組における支援事業等へのエントリー、更なる商品開発、販路確保などにつなげていただくよう、お願い致します。

(3) 支援内容のイメージ

活動支援プログラムにおいてFACOが解決する課題等とFACOの得意・不得意について事例として整理いたしましたので、参考にしてください。

課題の例	得意・不得意
地域の素材を用いて商品開発を進めているが、売れる商品づくりに向けたアドバイスをもらいたい。	{得意}:技術の内容にもよりますが、過去に食品メーカーの研究所等に勤務されていた方も多く、ピンポイントでの指導・助言が可能です。ただし、FACOが新商品開発を行うことはありません。開発はあくまで地域主体で進めるものと考えています。 FACOのうち半数程度が対応可能です。
新たに開発した商品の販路を拡大したい。もしくは販路開拓の方法を知りたい。	{得意}:FACOには、食品の流通分野に勤務されていた方も多く、ピンポイントでの指導・助言が可能です。 FACOのうち1/3程度が対応可能です。
地域の特産品を使った農商工連携の枠組を構築したが、どのように進めてゆけば良いかわからない。	{とても得意}:地域の原料ポテンシャルの把握やこれからみなさまが活動を推進する上での、戦略等の指導・助言を行います。みなさまが集まる会合などで、FACOからのレクチャーにより「気付き」の創出などが期待されます。 ほぼ、全てのFACOが対応可能です。
活動の方向性として地域ブランドを目指したいが、その方法がわからない。	{得意}:FACOには、地域ブランド構築の専門家をラインナップしています。ピンポイントでの指導・助言が可能です。 FACOのうち数名が対応可能です。
商品のパッケージデザインや内容等について、消費者の目にとまるものを作りたい。	{得意}:FACOには、食品の流通分野に勤務されていた方やデザインを行っていたかたもおり、ピンポイントでの指導・助言が可能です。FACOのうち1/3程度が対応可能です。
開発した製品の知的財産戦略が構築できない。特許、商標、意匠などについてわからない。	{少々不得意}:FACOには、知的財産戦略を専門とする弁理士のかたの登録もありますが、現在2名となっており、これらのかたであれば対応可能です。
地域の活動を観光産業と結び付けたいが、推進方法がわからない。	{とても得意}:地域の連携体や枠組を構築する戦略の延長線上にある取組です。戦略展開の指導・助言などが可能です。また、FACOには、観光カリスマもラインナップしています。 FACOのうち1/2程度が対応可能です。

(4) 支援活動の具体例

活動支援プログラムにおいて、FACOが4回のコーディネートを行う場合のモデルを例示しますので、参考にしてください。

支援内容	平成22年11月	12月	平成23年1月	2月
商品開発	2回(1泊2日) 商品の内容確認 商品の見直し検討 ブラッシュアップ指導	地域による商品のブラッシュアップ実施 地域側の取組		1回(日帰り) FACOによる成果確認と問題点の整理
販路拡大	1回(日帰り) 現状確認と見直し検討	1回(日帰り) FACOによる販路拡大のための指導 1回(日帰り) 小売業者とのマッチング	業者との契約 販売開始 地域側の取組	1回(日帰り) FACOによる成果確認と問題点の整理
戦略展開 (活動推進)	3回(2泊3日) 地域資源の確認 地域戦略の見直し検討 地域戦略作成指導	地域による戦略構築作成、事業申請準備 地域側の取組		1回(日帰り) FACOによる結果確認と次年度事業申請アドバイス

2. 活動支援プログラム採用のポイント

地域全体の連携や枠組構築といった漠然とした活動より、地域の課題解決に向けた戦略構築や対象となる地域原料などテーマ性の有無を重視します。

地域の風土や食文化、歴史など、テーマの必然性や商品開発を行った際のストーリー性の有無を重視します。

課題解決など FACO を派遣する必然性や具体性の有無を重視します。

地域の連携体や枠組に対し、地域自治体との関わりの有無を重視します。

単年度内での簡易な商品開発や販路確保以上に、具体的なテーマを持ち、持続可能な地域の活動や次年度以降に発展的な展開の可能性をもった取組を重視します。

現地のコーディネーター、アドバイザー、代表窓口等との今後の連携の可能性の有無を重視します。

派遣する4回のうち2回以上が FACO の講演など、地域における具体的な課題解決に直接繋がらない派遣活動は対象外とします。

3 . その他の事項

応募書類の提出先およびその他、活動支援プログラムに関するお問合せについては、下記のFACO事務局まで、ご連絡ください。

【応募データの送付先 及び お問合せ先】

〒114-0024 東京都北区西ヶ原 1-26-3 農業技術会館 3F

社団法人 食品需給研究センター

FACO バンク事務局 担当 : 江端一成、長谷川潤一、藤科智海

TEL 03-5567-1991 FAX 03-5567-1960

E-MAIL facobank@fmric.or.jp